

平成 30 年 8 月 31 日

印西市長 板倉 正直 様

印旛地区地域審議会
会 長 石 井 武 雄

印西市総合計画の進行管理について（答申）

平成 28 年 11 月 8 日付け印西企第 361 号で諮問のありましたこのことについて、
下記のとおり答申します。

記

当審議会において審議した結果、印西市総合計画及び新市基本計画に沿って着実に
各施策の推進が図られているものと判断します。今後も、以下の各基本目標における意
見等に留意され、将来都市像である「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に
向け、均衡のとれた健全なまちづくりを進められるよう要望します。

○基本目標 1【生活環境】

- ・ 地域に数多く残る里山などの貴重な自然は本市の魅力でもあることから、大切に未
来に継承していくためにも、自然環境の保全対策や不法投棄・ポイ捨て対策の強化を
図っていただきたい。
- ・ 懸念される地震等の大規模災害に備え、避難施設や備蓄食糧等の整備、迅速かつ的確
に情報発信がなされるよう伝達機能の強化・充実を図っていただきたい。

○基本目標 2【健康福祉】

- ・ 地域の高齢化が進む中において、不安なく住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地
域における支え合い体制の構築を進めるとともに、交通・交流を含む福祉サービスの
充実を図っていただきたい。

○基本目標 3【産業振興】

- ・ 営農に多大な被害を及ぼすイノシシ等の有害鳥獣については、対策を講じているに
もかわらず生息数、生息範囲は拡大していることから、関係機関と連携しつつ更
なる対策の強化を図っていただきたい。
- ・ かけがえのない地域資源でもある印旛沼及びその周辺の活用として、道の駅、休憩所、
親水広場など集客機能を備えた施設の整備を検討いただきたい。

○基本目標 4【教育・文化】

- ・児童数が少ない小学校においても、教育に格差が生じないように配慮するとともに、個性を伸ばし豊かな人間性や社会性を育む特色ある教育を進めていただきたい。また、快適な教育環境や通学路等の安全性の確保充実に努めていただきたい。

○基本目標 5【都市基盤】

- ・市道師戸・江川線など新市基本計画に掲げた整備未着手の市道について確実に着手するとともに、生活を支える地域内の道路や橋梁、上下水道施設など都市基盤の適切な維持管理に努めていただきたい。
- ・印旛中央地区については、産業業務拠点等としての活用を踏まえ、土地利用の適正な誘導を図っていただきたい。

○基本目標 6【住民自治・協働・行財政】

- ・当市においても今後、人口減少の転換期が迫りつつある中、行政施設や行政サービスの見直しは必然のことと思われませんが、各地域における住民ニーズをしっかりと把握し、地域によってサービス等に格差が生じないように、行政施設等の統廃合や事業運営を進めていただきたい。

最後に、市が実施した平成29年度印西市市民満足度・重要度調査では、回答者の約8割が「住みやすい」としています。また、民間企業が実施している住みよさランキングでは、平成24年から7年連続全国1位という評価を受けていますが、地域によって感じ方に格差があることは否めません。

こうした格差の解消が早期に図られるよう、ニュータウン地域以外にもしっかりと目を向け、積極的に地域振興策に取り組まれることを強く望むものです。

印旛地区の市民が一層「印西市」に誇りと愛着を持ち、将来にわたり住み続けたいと真に実感できるまちづくりに期待します。

平成 30 年 8 月 31 日

印西市長 板倉 正直 様

本埜地区地域審議会
会 長 鳩 貝 太 郎

印西市総合計画の進行管理について（答申）

平成 28 年 11 月 8 日付け印西企第 362 号で諮問のありましたこのことについて、
下記のとおり答申します。

記

当審議会において審議した結果、印西市総合計画及び新市基本計画に沿って着実に
各施策の推進が図られているものと判断します。今後も、以下の各基本目標における意
見等に留意され、将来都市像である「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に
向け、均衡のとれた健全なまちづくりを進められるよう要望します。

○基本目標 1【生活環境】

- ・高齢者や子どもを狙った犯罪が増加している今日において、安心安全に暮らせるよ
う、引き続きパトロールや防犯灯整備など防犯対策の強化に取り組むとともに、地域
内で後を絶たないイノシシによる事故等の防止対策を講じていただきたい。
- ・一刻を争う災害時においては地域による対応が不可欠であることから、地域ぐるみ
で見守り助けあう体制の構築を早急に進めるとともに、迅速かつ安全に避難行動が
できるよう災害情報等の伝達強化、避難経路の周知徹底を図っていただきたい。

○基本目標 2【健康福祉】

- ・生産年齢人口世代の地域離れに歯止めをかけるためにも、子育て・保育サービスの充
実を引き続き図るとともに、Uターン施策についても検討していただきたい。
- ・高齢者になっても健康で活動的な生活を送れるよう、交流や社会参加の機会の拡充
を図っていただきたい。

○基本目標 3【産業振興】

- ・農業従事者の高齢化や後継者不足が年々深刻さを増しており、地域における農業の
持続的発展を図るためにも、耕作放棄地対策や担い手、新規就農に対する支援の強化
はもとより、地元農産物の消費拡大に向けた高品質化や販売促進の取り組みについ
ても進めていただきたい。

○基本目標 4【教育・文化】

- ・学校は地域社会の将来を担う人材育成の場であるとともに、防災、保育、地域交流の場など様々な機能を有していることから、平成30年2月6日付けの当審議会からの建議内容を十分踏まえ、学校の適正配置を推進するにあたっては保護者及び地域住民の意向等を尊重しつつ慎重に進めるとともに、少子化に対応した活力ある学校づくりに向け、そのための予算確保及び体制整備の充実を図っていただきたい。
- ・地域に残されている数多くの仏像、石造物、社寺建造物や無形民俗文化財などを次世代に継承していくために、適切な保護や支援の強化をしていただきたい。

○基本目標 5【都市基盤】

- ・市道竜腹寺線や笠神・中田切線など新市基本計画に掲げた整備未着手の市道について確実に着手するとともに、高齢化の進展に伴う免許返納等により、ますます交通弱者が増えてくるものと思われることから、早急に市内公共交通の充実及び交通弱者対策を講じていただきたい。また地域内には狭隘な道路も多いことから、通行に支障をきたすことのないよう、適切に管理又は改善に向けた指導等を行っていただきたい。
- ・地域の良好な住環境を保全していくためにも、年々増え続ける空き家に対し実効的な対策を講じ、適切な管理を推進していただきたい。

○基本目標 6【住民自治・協働・行財政】

- ・地域における人と人との結び付きが弱くなりつつある中で、町内会・自治会等のコミュニティ組織の重要性は増していることから、活動に対する支援の拡充等を図っていただきたい。また、地域の一体感を醸成していくためにも、他地域との交流・活動機会を増やしていただきたい。

最後に、市が実施した平成29年度印西市市民満足度・重要度調査では、回答者の約8割が「住みやすい」としています。また、民間企業が実施している住みよさランキングでは、平成24年から7年連続全国1位という評価を受けていますが、地域によって感じ方に格差があることは否めません。

こうした格差の解消が早期に図られるよう、ニュータウン地域以外にもしっかりと目を向け、積極的に地域振興策に取り組まれることを強く望むものです。

本埜地区の市民が一層「印西市」に誇りと愛着を持ち、将来にわたり住み続けたいと真に実感できるまちづくりに期待します。